

〈連載〉
あなたもできます
「留学自分流」

第3回
留学費用と期間

小川翔平(広報青年部会)

アジアは主要英語圏の半分

今回は留学の費用と期間についてです。

まず、留学にはどのような費用が必要なのでしょうか。具体的にリストアップしてみます。

授業料／家賃／現地での生活費（食費、交通費、交際費等）／旅行保険／航空券

以上はどのような留学に行く場合も大体必要です。国によりますが、語学留学の場合、主要英語圏で年間250～400万ほど必要だと言われています。アジアや南米などの物価の安い国であれば100～200万円以下で1年単位の留学が可能です。私が韓国に1年間留学した際は合計で約150万円かかりました。

パスポートを持っていない人は別途パスポート申請料が必要ですし、長期の場合にはビザの取得が必要なのでビザ申請費を支払います。自分ですべて手配する場合は不要ですが、留学エージェントを通しての留学であれば契約料が数万円必要です。

高校生が留学に行く場合は自分ですべて手配することは難しいでしょうから、交換留学制度を利用する場合はほとんどだと思えます。その場合は授業料の負担が無かったり、奨学金等が支給される場合が多いので、実質負担額は英語圏でも150万円ほどだそうです。

留学時期は周囲と相談して

費用の話の次は期間についてです。日本と海外では学期制が異なるため、留学時期の選択は非常に重要です。高校生であれば国内での進学が一年遅れる可能性も出てきます。大学生であっても、単位の振替や始業時期のズレなどで休学の必要が出てくる場合もあります。在学している学校の教員や、先輩、両親とよく相談してから留学時期を決めましょう。かなりの覚悟が必要にはなりますが、高校卒業後に日本の大学へ進学せず、そのまま海外留学するケースもあります。

また、資金面で両親からの援助を受けられるのであれば留学費用についての心配はあまりないかも知れませんが、自分で留学費用を準備しなければいけない場合、貯蓄にかかる期間も大事なポイントになります。私は大学2年の1年間を留学費用の貯蓄と、語学勉強のために当て、そのあと休学して韓国に1年間留学しました。

留学に行くのは大きな決断です。しっかりと考え、準備をする必要があります。



筆者が利用した韓国の通学バス。日本のバスに似ているが、乗ってみると全く違う。

韓国の学生食堂のメニュー。チゲなどがあり、日本の物とは異なる。これで200円。

